



スポーツ姉妹都市 静岡県焼津市

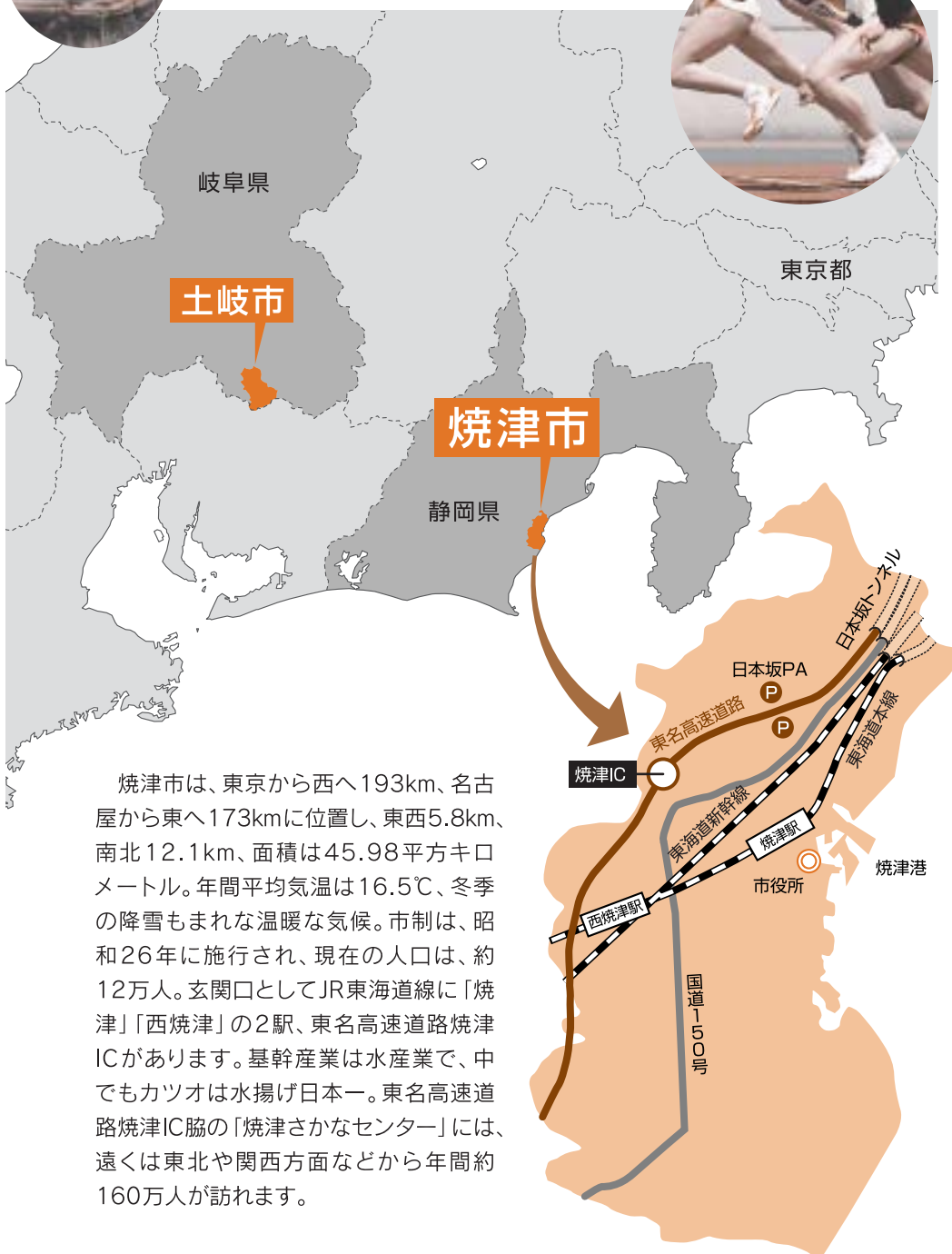
スポーツを通して培った固いきぎずな 30年

昭和53年10月10日に静岡県焼津市とスポーツ姉妹都市を締結し、今年で30年目を迎えます。

締結以来、スポーツを通しての交流が毎年行われ、現在は、年2回の本交流（一般）、中学校・スポーツ少年団の交流、他に各種目協会・クラブサークル・地域自治体の自主的な交流も盛んに実施されています。

また、平成9年には「災害時の応援に関する協定」が締結されるなど、交流は各方面へ広がりを見せています。

そこで今回は、30周年に寄せて両市長ならびに、このスポーツ交流に携わってきた方々の言葉を紹介させていただくとともに、1年間の交流の流れを見てみましょう。



30周年を祝して

土岐市長 大野信彦



昭和53年10月10日に土岐市と焼津市がスポーツ姉妹都市を締結して、30周年という節目を迎え、両市のスポーツ交流がますます盛んになっていることを、心からお喜び申し上げます。回を重ねてまいりました本交流会が、両市のスポーツイベントとして定着し、延べ5万人もの交流がなされたその歴史に、あらためて両市の熱い思いを感じますとともに、体育協会をはじめとする関係各位の皆さんのご尽力に深く感謝いたします。

生涯にわたってスポーツに親しむことは、人生をより豊かにするとともに、明るく豊かで活気に満ちた地域社会の形成や心身の健全な成長に不可欠であり、少子高齢化社会においてその重要性は増大しています。大人から子どもまで一緒に楽しむことができるインディアカやゲートボールといった競技は、焼津市から教えていただき、多くの市民が楽しんでいます。地平線に広がる海の恵みを受け、おほかで豊かな人間味溢れる焼津市から、スポーツを通し

てさまざまなことを指南していただき、本市のスポーツ振興に多大な影響を与え続けています。

先般、第59回焼津市民スポーツ祭・第28回地域対抗スポーツ祭の開会式に招かれました。31競技団体と各自治会代表者による堂々の入場行進やスポーツ都市宣言の朗読・なぎなた演舞の披露などを拝見し、スポーツを通して市民が一丸となっている姿に感激してまいりました。

本市におきましても、すべての市民が健康で明るく楽しい生活を送ることができるよう「一人一スポーツ」を理念に掲げ「身体づくり・仲間づくり・生きがいづくり」をテーマに日常生活の身近なところにスポーツを位置づけ、さまざまな施策に取り組んでいます。皆さんのお力添えを得ながら、スポーツ姉妹都市交流の充実・発展に一層努力する所存であります。

焼津市・土岐市スポーツ姉妹都市締結30周年に寄せて

焼津市長 戸本隆雄



昭和53年10月10日、「焼き物」のまち土岐市と「海」のまち焼津市がスポーツ姉妹都市を締結し、30年という節目を迎えました。この間、年2回の本交流をはじめ、中学校交流、スポーツ少年団交流など、延べ5万人を超える両市民の交流が脈々と継続されてきたことは、両市関係者のご尽力と両市民のご理解、ご協力によるものと衷心より感謝申し上げます。

今日の経済発展によるOA化や利便性の向上、また少子高齢化社会の進展など、私たちを取り巻く社会環境は激変しています。このような中、心身ともに健康で明るい生活を送るためには、生涯を通してスポーツに取り組み、実践することが求められています。本市においては、この交流開始と時を同じくして、「スポーツ都市宣言」をし、以来「健康で明るいまちづくり」を目指し、より多くの市民がスポーツを通して健康増進や仲間づくりに励んでいただくための機会や場所の提供に努めてまいりました。

その一方策として、この土岐市とのスポーツ姉妹都市交流が本市のスポーツ普及振興に多大な役割を果たしてきました。また、このスポーツ交流をきっかけに、教育や文化、産業など幅広い交流にまで広がり、20周年(平成9年)の

折には、災害時に相互に助け合うという「防災協定」を締結するまでに至ったことは大変意義深いことでもあります。そして、何よりもこの30年間の交流を通し、両市民が親睦を深め、友情をはぐくんできたことが一番の喜ばしいことでもあります。

本年度5月には30周年を記念し、セラトピア土岐で行われた土岐市民総合体育大会開会式にお招きいただき土岐市の皆さま方から温かな歓待を受けました。また、本市の総合体育館(シーガルドーム)で行われた市民スポーツ祭・地域対抗スポーツ祭総合開会式の折には、大野土岐市長をはじめ、多くの交流委員の方々も遠方より来焼されました。相互の総合開会式では、これまでの30年間を振り返り、本交流の意義をあらためて再確認するとともに、未来に向けて、交流のますますの発展を祈念することができました。

結びに、義理人情に厚く、伝統を重んじるとともに進取しんしゅの気風をも併せ持つ土岐市の皆さま方と、今後も良きパートナーとして、お互いに研鑽けんさんを重ね、末永く交流できますことを祈念申し上げ、ごあいさつといたします。



永遠のスポーツ交流を目指して

土岐市体育協会長

小池良司



焼津市・土岐市がスポーツ姉妹都市として交流を続け、30周年を迎えました。

スポーツ先進市焼津市から土岐市は競技スポーツのみならず、多くのニュースポーツを教わり、両市の若者から高齢者までがスポーツを通じてお互いが心身の鍛錬と有意義な交流が続けられ、土岐市にとって本当に充実した年月でありました。

交流を続けてきた種目は20種目以上にもなり、毎年交流を続けている種目協会は、焼津市へスポーツ交流に出掛けることを楽しみにしています。

スポーツは、どこでも誰でも健康保持を目指し、生涯行えるものと思っており、今後ともますます交流が続けられることでしょうか。

土岐市体育協会としましては、交流会議において、指導いただいた事例を研究し、充実した体育協会になるよう努力していく所存です。

また、私自身は今年満70歳を迎えましたが、現在でも陸上競技に熱中し、健康を保持しつつ、できる限り多くの大会にも参加し楽しんでいきます。

どうか焼津市・土岐市のスポーツ交流が永遠に続くことを祈念し、交流30周年のあいさつとします。

人生の楽しみをありがとう

土岐市インディアカ協会長
加藤利明



あるクラブの練習風景を紹介させていただきます。当番の方と早く来た人が協力してネットを張ります。モーニングストレッチを輪になって必ず行い、少人数に分かれてトスの練習。このころから口のチャックが開放します。毎週顔を合わせているのに、よくまあ話題が尽きないことだと感じるほどです。チーム分けはくじで当日決め、試合形式の練習の始まりですが、珍プレーの続出で笑い声が絶えず、皆さん顔のしわを気にしています。自分の手でありながら思うように動いてくれない、羽根が上がらない、飛ばないでついつい珍プレーに、アハハ、ワハハという練習が約1時間、見ているだけでしわが増えそうです。週に一度の練習ですが、ストレス発散・肩こり解消と健康づくり・仲間づくりに最高のスポーツです。

インディアカは個人の運動能力よりも、チームの連携プレーが大切になります。「私は本当に運動が苦手で・・・」という女性でも必ずうまくなります。彼女が試合に勝った時の笑顔を今でも忘れることができません。

インディアカと焼津の皆さんとの出会いは、私の人生を変えました。交流会を重ねるたびにますます充実してきていて、試合はもとより、出掛けたときは鯛はんぺんで盛り上がり、土岐市は美濃焼きでもてなしています。両市の心が通い合う焼津交流とスポーツとしてのインディアカに、生涯を通してかかわっていきたくて考えています。60代、70代はもちろん、80代になってもできるかも!

土岐市インディアカの始まり

土岐市インディアカ協会
初代理事長 藤井千里



インディアカは、昭和59年にスポーツ姉妹都市の焼津市から体育指導委員の皆さんが、生涯スポーツの一つとして紹介され、以後市内での普及に努められてきました。平成2年に協会が発足するまで6年の間に、市インディアカ大会を10回も開催されたことは、いかに早く市民の間に広まっていったかが分かります。平成6年には、53クラブ会員346人を数えました。平成3年に市体協に加盟するとともに、年2回の焼津交流には、協会の主導で必ず交流を行ってまいりました。

協会発足以前の交流は、各町持ち回りだったり、焼津へ行ったクラブチームが主として市での交流を行ったりしていました。加藤忠良さんをはじめ体育指導委員の皆さんに環境を整えてもらい、クラブチームに参加を呼び掛けました。加藤さんは、初代協会長に就任してもらい、黎明期の土岐市インディアカの発展に尽力されました。

当初のルールは「ピン・ポン・パン」と呼ばれ、コート内の3人が必ず羽根に触り、3回で相手コートに返すことが基本でした。この後、改定に改定を重ね、現在の土岐市ルールができました。一方で全国ルールのインディアカもあります。これは6人制バレーボールを基本にしたものです。現在の焼津交流は全国ルールで行われています。

40代でインディアカと出会い、現在男性では最高齢者となりましたが、まだまだ現役選手です。

本交流



一般の方を対象にした競技種目別の交流会が、6月と9月の年2回開催されます。会場は土岐市と焼津市の交互で行われます。土岐市には28種目、焼津市には31種目の競技団体があり、それらの団体が日ご

ろの練習の成果を交流します。

最近は競技スポーツだけでなく、インディアカやグラウンドゴルフといった健康づくりやレクリエーションを目的とした種目が増えています。より多くの方々に参加していただけるように努力しています。



6月・9月

自主交流

通年

定期的な交流だけでなく、種目協会が連絡を取り合って、自主的に試合や練習が行われています。東海環状自動車道の開通により、より身近に交流が行われるようになりました。

焼津みなとマラソン

4月



ハーフ・10kmの公認コース。土岐市からも多数の選手が参加しています。

12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

8月



スポーツ少年団交流

小学生対象の交流会は、野球・サッカーのほかに自然を生かしたレクリエーション活動も行われています。



土岐市一周駅伝

2月



土岐市主催のスポーツ大会に焼津代表選手が参加しています。

6月

中学校交流



中体連夏季大会本番を控えた6月に焼津との腕試しができます。多くの先生方に協力いただいています。

詳しくは、スポーツ振興課(内線277)へどうぞ。